

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	さくら保育園	施設種別	保育所 (旧体系： )
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成25年 1月 8日

総 評	<p>さくら保育園は昭和28年に開設された、東舞鶴の豊かな自然に囲まれた住宅地の一角にある保育園です。同じ敷地内に倉梯幼稚園が隣接しています。地域とのかかわりを大切にした運営がされており、園長は公民館の運営委員や市民ワークショップの一員を担うなど、地域福祉の推進に努めています。</p> <p>保育方針は、「善悪のけじめをしっかり身につけ、自ら実行することのできる、たくましい子どもに育てる」としています。保育理念や方針、保育目標は、保育園内に掲示してあり、園長のリーダーシップの下、職員や保護者の周知への取り組みを行っています。</p> <p>子どもの心の自由な表現を育てる絵画創作指導、音楽リズムとして和太鼓・鼓隊を取り入れており、特に、絵画創作では、0歳児から5歳児までの園児のダイナミックな作品を保育環境に活用し、子どもたちの創作意欲をうまく引き出しています。</p> <p>保育者は子どもたちに対し穏やかな口調でゆったりと関わっており、子どもたちものびのびと園生活を過ごしています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異年齢児交流、高齢者福祉施設訪問、世代間交流などの地域活動事業、講演会への地域の方々の参加、実習農園の収穫物の地域への配布、地元祭りへの参加、京都府サッカー協会からの派遣ボランティアによるサッカー教室など、保育所機能の地域への還元に努めています。</li> <li>・園の特色でもある絵画活動については、紙だけでなく様々な素材を使うことにより、子ども一人ひとりの自由な表現が生かされています。</li> <li>・保育園の近くには実習農園が整備され、季節ごとに収穫した野菜を使って毎月クッキングを行い、子どもたちの食への関心を高める努力をしています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員の資質の向上のため、職員の研修参加に取り組まれています、職員の個別研修計画を策定されるとなお良いでしょう。</li> <li>・3歳未満児については個別の指導計画を作成するよう、保育所保育指針に書かれています。0・1歳児の個別計画は作成されていますので、2歳児についても同様に個別計画を作成されるとなお良いでしょう。</li> </ul>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

# 京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

---

## 【保育所版】

# 評価結果対比シート

---

受診施設名	さくら保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	2013年1月8日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
	I-2-(2) 保育の計画が適切に策定されている。	① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
		② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A
		③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	B	A
		④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	A
		⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・保育理念・園目標は、入園のしおり、入園のパンフレットやホームページに明文化され、公開されています。保育園の特徴が理解しやすい内容で、職員に対しては会議などで説明し、周知を図っています。利用者に対しては入園式や説明会で園長が話し、また入園のしおりやクラスだよりなどを通じて、周知を図っています。

・保育課程は、保育の理念、保育の基本方針、保育目標に基づいて編成され、保育園と小学校の連携について明記されています。指導計画は、保育課程に基づき作成されています。地域活動として、異年齢児交流、高齢者福祉施設訪問、世代交流事業があります。保育課程、指導計画は定期的に評価や見直しが行われています。

・職員会議を通して、指導計画の検討見直し・評価・反省がなされ、計画が立てられています。月の目標、行事、クッキングなどの活動について、利用者には知らせています。利用者への分かりやすい周知を目指しています。

・組織分担当などで管理者、各職員の役割を明確にしています。また、園長は、施設長研修や外部研修などに参加し、法令理解にも努めています。

・園長を始め、管理者は園内の会議などで多くの指導や助言、情報発信を行っています。また公認会計士から専門的な助言を受けたり、パソコンを活用し業務の効率化を図るなど、リーダーシップを発揮しています。

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	B	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	B	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	B
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	B	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

### [自由記述欄]

- ・園長は、子育て支援拠点施設整備の市民ワークショップの提言者や南公民館の運営委員を務め、舞鶴市や保育協会などから制度や子育て環境の情報を集めるなど、事業経営をとりまく環境を把握しています。
- ・新任職員心得に必要な人材に関する考え方が明記されています。事業計画において必要な職員配置が明記されています。
- ・園長は、職員と年1回個別面接の機会を設け、職員の就業状況や意向を把握するように努めています。
- ・マーチング、和太鼓や造形などの実技研修、保育協会主催の研修に参加しています。研修終了後には、研修レポートが作成され、研修内容の共有化を図っています。職員の知識、保育技術を把握し、各職員に応じた個別の研修計画を作成すると良いでしょう。
- ・保育士養成校からの実習生を受け入れています。管理者がオリエンテーションを実施します。実習生が全年齢の保育を体験できるように計画（プログラム）を立てています。
- ・地域とのかかわりを大切にしており、祭りのときに御輿が園庭にきたり、公民館行事にも参加しています。また、造形参観や子育てや心理カウンセラーによる講演会に地域の方々を招待しています。園の実習農園で収穫したさつまいもやタマネギなども近所の方々に配るなど地域の保育園として交流を図っています。
- ・小学校や中学生の体験学習などを受け入れています。月2回土曜日の園庭開放や掲示板に園行事を掲示し、近隣の方々へ参加を呼びかけるなど、保育所機能を地域に還元しています。また、ボランティア実施プログラムを用意し、ボランティアを受け入れています。
- ・地域の関係機関や病院など緊急連絡先について、職員間での情報の共有化が図られています。

### Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	B	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	B	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	A
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	A

#### [自由記述欄]

- ・個人情報保護規程を整備しています。作品展や運動会の行事後のアンケートの実施や、利用者の意見を聞くための「きかせてポスト」の設置を通して利用者の意見を会議で検討し、園だよりや掲示で適切に対応しています。
- ・今回が2度目の第三者評価です。受診にあたり、全職員が評価項目をチェックし、分析をしています。職員間での評価の違いを園内で話し合い、検討を行っています。乳児部会や幼児部会で自己評価を実施し、改善に向けた取り組みがあります。
- ・子どもの身体状況や生活状況を園の様式で記録しています。職員会議で子どもに関しての課題や対応の報告、検討がされています。また、保育に関する連絡事項は、連絡ノートに記録され、職員間での情報の共有化が図られています。
- ・インターネットを通じて行事ビデオや行事記録を公開し、現在はスマートフォン版もあります。入園のしおりを市役所に置いています。
- ・保育の利用にあたり、園のしおりをういて入園説明会を実施し、保育サービスや必要な料金等を説明しています。
- ・転園に際し、転園先の要望により園所定の様式に記入して提供するなど保育の継続性に努めています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	B	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	B	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	B	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	非該当

[自由記述欄]

- ・登園時や保育中の健康管理については、連絡ノートに記録され職員間で情報を共有しています。
- ・健康診断は年2回、歯科健診は年1回実施し、健康手帳に記録して保護者に伝えていきます。嘱託医を交えての定期的な会議として、健診後に話し合い保育に反映されています。さらに保育現場では、絵本や紙芝居を使って子どもたちに歯の大切さを伝えていきます。
- ・感染症対応マニュアルを作成しています。感染症について予防対策を、園内に掲示するとともに、保護者に便りを配布しています。
- ・子どもの喫食状況は、毎日、給食日誌に記入され、それをもとに月1回のミーティングを実施しています。旬の素材を使い週2回の手作りおやつや、日本の食文化を伝えるための行事食も実施されています。

- ・食育計画に基づき、実習農園で野菜を栽培し、収穫物でクッキング保育を実施しています。園外保育も積極的に行われ、月1回お弁当の日を設けて、戸外で食べるなど、食事形式を工夫されています。
- ・アレルギー疾患をもつ子どもに対しては、医師の診断に基づいて除去食を提供しています。
- ・各保育室は、採光や温度・湿度に配慮され、イオン発生機や加湿器を設置するなど清潔に保たれています。週1回の玩具の消毒や月1回の遊具点検のほか、害虫駆除も定期的を実施されています。
- ・園内には、季節を感じられる花や壁面制作作品が飾られ、年中行事にも配慮されています。
- ・保育士は、子ども一人ひとりに丁寧に言葉がけ、温かく受容するよう努めています。
- ・各保育室には、年齢に応じた玩具や手作りの玩具が用意され、保育の中で活用されています。保護者と連携しながら集めたりサイクル素材や、園外保育で拾ってきた自然の素材を使い、子どもたちの自由な発想で造形活動が体験できるようにしています。子どもたちの造形作品は、園内に飾られています。
- ・人権擁護委員と連携し、子どもが、人権などへの配慮やお互いを尊重する気持ちが持てるように取り組んでいます。
- ・乳児保育室は、家庭的な雰囲気やゆったりとした環境です。SIDS対応として10分ごとに午睡状況を確認しています。
- ・長時間にわたる保育については、職員連絡ノートにより担当保育士に引き継いでいます。
- ・障害児保育のために専門機関との連携や職員の研修参加など組織的に対応が図られていますが、現在、対象児童は在籍していません。

#### IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	B	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	B
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

#### [自由記述欄]

- ・子育てに関する日常的な情報交換は、朝夕の送迎時に行い、0・1歳児は毎日の生活状況表に、全園児に対して、毎月1回ノートに子どもの様子を記入されています。毎日の保育の様子は、掲示板に写真が掲載されています。
- ・年に1回個人懇談会とクラス懇談会を実施しています。参観日をはじめ親子の集いや運動会、祖父母参観などの行事により、保育の内容に共通理解を得る機会を設けています。
- ・虐待に対するマニュアルを整備し、早期発見に努めるとともに、関係機関へ通告するための連絡先も明示されています。
- ・保育要録に加え、子どもの発達記録を整備し小学校との連携に活かされています。指導計画については0・1歳児のみが個別計画のため2歳児においても、心身の発達や活動の実態あんどに即して、個別的な計画を作成されるとな良いでしょう。
- ・一時保育は、舞鶴市との取り決めにより1日2名まで受け入れ、通常保育の子どもとの交流に配慮しています。

#### IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	A	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

#### [自由記述欄]

- ・調理場・水周りは、マニュアルに基づいて環境整備チェック表を作成・記録し、衛生管理に努めています。
- ・食中毒対応マニュアルが整備され、職員間で周知されています。関係機関の研修にも参加し、意識の向上を図っています。
- ・事故防止マニュアルを整備し、チェックリストに基づき管理者が月1回点検を実施しています。
- ・事故や災害発生時、事故対応、不審者侵入などのマニュアルを整備しています。